



代表取締役会長
百瀬 正容 氏

代表取締役社長
百瀬 友志紘 氏

現在、企業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）は極めて重要なテーマとなっています。特に、働き方改革に重点が置かれている事業所には影響が非常に大きい事が考えられます。今回は、本年度、デジタルシティ松本推進認定企業選考において三つ星認定を受けた、三協電気工業株式会社様にDX推進による効果などをお聞きました。

1. DXを先進的に進められた経緯を教えてください。

百瀬社長 DX導入の経緯は、今いる人員で売り上げの現状維持をするためには、最大の効率で、同じ人間で、1人が10人分こなさないとはいけなかったと考えました。人口減少に関係しますが、そのためにデジタルで誰でもできる仕事は早くできるようにしていくのが一番早いかなという考えで、始めは現状維持のためがスタートでした。

2. 新たな展開よりは、現状維持に着目した訳ですね。

百瀬社長 先ず現状維持してからでないと、新しい事に取り組んではいけないと言った教訓を、青年会議所で学びました。格好つけてもいけないということです。

3. デジタルシティ松本推進認定企業の取得に取り組んだ事は、DX化が進んだ実感があった訳ですか。

百瀬社長 正直ありませんでしたが、周囲の方から弊社はデジタル化が進んでいるのではないかとと言われて、チェックして見たところ、結構取り組んでいるのではないかと思います、それで初めて確認できたところです。

4. 具体的な取り組みを教えてください。

百瀬社長 独自ではあまりないのですが、大手メーカーさんが、工事調査するためのアプリケーションとかスマートフォンなどが用意されていて、それらを活用して、今まで現場に3～4回行かなくてはならないことを、1回で所要時間も3～40分で終わってしまうこともありました。新しい現場を始める時に、大手メーカーさんとの契約を独自で取り入れることも出来ています。一緒に作業していくことで真似したりして取り入れて行くこともあります。

5. 実際の仕事の中で効率化が見えることがあった訳ですね。

百瀬会長 結論的には、人がいないので、やらざるを得ない。今はメーカーさん含めて周囲の力を借りながら、今までの仕事のやり方と違うやり方で、これまでと違ったところ、いろんなことを吸収して早くする。そのためにはメーカーさんからビックデータを貰うなどすることで早く出来ます。データを貰いながら提案できます。弊社みたいなレベルで提案することまで出来るようになるのです。データを早く集める。今までみたいに紙ベースではなく、データ共有できるものは共有する。線引きを明確にして守秘義務を守りながら進めることが重要と考えます。



感謝・安心・環境
弊社キャラクター
「キョーちゃん」

6. データ収集にドローンの利用などもありますか。

百瀬社長 大型球技場でのプロポーザル資料のために、参考とし視察した県外別球技場でドローン撮影し、照明シミュレーションを動画にして取り入れたことで、以前は資料作りに10日要したことが2日で完成してしまいました。

百瀬会長 動画での提案による成功事例も多く出ています。相手の方も紙ベースで渡されるよりも、数分の動画をお渡しした方が分かりやすいと思います。電気設備は、今までは建築があってから、電気設備の流れでしたが、今はお客様から相談が来て、一緒に補助金や助成金などを活用提案して、エネルギーコストや、カーボンニュートラルの問題含めて、一緒に色々提案するようになってきています。電気工事屋はエネルギー関係の問題解決、提案のウエイトが高いので、並行して相談されるケースが多いです。新しい提案をするときにはAIやDXも併せて組み入れていかないと新しい提案ができません。



貢献・安全・品質
弊社キャラクター
「キョーちゃん」

7. 仕事を待っているのではなく、こちらから積極的に提案していくわけですね。

百瀬社長 弊社でこなすだけでなく協力いただける皆さんとの広がりの中で、ここに頼めばやっていただけると言った体制が出来ていますので、自信をもって仕事を受ける事が出来ます。

百瀬会長 弊社にメリットはありますが、積極的過ぎると逆に仕事の繋がりや難しいところもあります。提案もある程度進むと複雑な場面も出てきます。弊社は工事屋ですので先行して進めてしまうと、発注側と請負側のバランスが崩れてしまい、弊社が好きなように進めているのではないかと、過剰な提案も我田引水になってしまい、あまりよくない訳です。

8. デジタル化に取り組む事業所が増えていきます。なぜこのような取り組みを行ったのでしょうか。

百瀬社長 社員同士や協力会社と、提案だと色々進めるにあたって、それ毎に内部でDropboxを分けて作りファイルの保存と共有をし、自宅にいてもいつでも開けば同じ資料共有でき更新し、そこで最新になってくので効率的です。共有が上手くいけば、自宅にいても十分仕事ができるのではないかと考えていて、テレワーク推奨も考えています。

9. デジタル化の取り組みはどのようにして始まったのですか。

百瀬社長 始めたきっかけは、私の処に回覧物を置くと、1週間経っても回ってこないと言ったことがあったからだと思います。パソコンならば、私が毎日仕事で見ているので確認するのではないかと、これがスタートかなと思うのです。基本的に、総務や現場の方で個別に出てきた効率化のためのものであれば、高価な場合は別ですが安価であれば、私も内容まで理解しようとするので進みませんので、やってみようと言って進めてしまいます。

10. 御社にとってのDXの意義について教えてください。

百瀬社長 目指すところ効率10倍ぐらいの考えで今やっています。多分それぐらいやっていかないと人手不足の対応ができません。弊社は小さいことからどんどん始めていくことで、DXの取り組みを行い、堅苦しく考えて始めるのではなく、流れの中で徐々に高まって行き、気づいたらDXだったと言った流れです。「楽をするにはどうしたらいいのか」これが働き方改革の根本的な考え方ではないのではないかと思います。



福祉・愛・健康
弊社キャラクター
「キョーちゃん」



三協電気工業 株式会社

所在地：松本市女鳥羽 1-8-5

代表者：代表取締役会長 百瀬 正容

代表取締役社長 百瀬 友志紘

事業内容：電気工事・管工事 長野県知事許可(特-4)第001567号
電気通信工事・消防施設工事 長野県知事許可(般-4)第001567号

取り組み：健康経営優良法人・デジタルシティ松本推進企業・
毎年8月第一土曜日全社員をあげてボランティア活動



2023年10月2日 松本市長より

デジタルシティ松本推進認定企業三つ星の認定

【DX推進に関するお問い合わせ】 松本商工会議所DX推進部 TEL：0263-32-5350 Mail：mccidx@mcci.or.jp